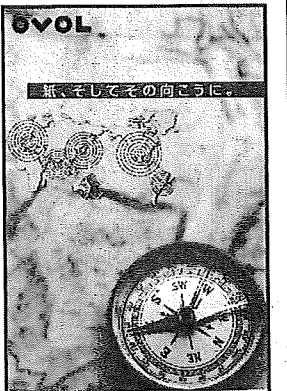




発行所 (株)紙之新聞社
編集発行人 杉山寿朗
東京都千代田区神田須田町1-18



日本紙パルプ商事グループ
www.kampa.co.jp

印刷博物館 P&Pギャラリー

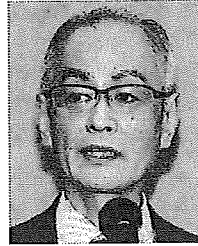
進化するデジタル印刷展

大きく占めていく時代の潮目、地殻変動

「進化するデジタル印刷」オンデマンド出版からリアル印刷まで...
三月二十四日から六月十日まで、東京都文京区の印刷博物館P&Pギャラリーで開催されている。

印刷博物館の展示がデジタル印刷に変わる。時代の潮目、だったと言われるように頭張る」と述べた。
乾杯の発声は今回の展示協力の凸版印刷(株)取締役情報コミュニケーション事業本部ソリューションズ・ソリューションズ長の中尾光宏氏が、「おそろく、産業界の『地殻変動』が起きているのを肌で感じることが出来る。マーケティングが密接に結び付くと思う。新しい期待も湧んでいる。新しい産業のビジネスモデルのヒントが溢れている。」と杯を挙げた。

洛野英生社長



も「ある」と挨拶した。
続いて、電子出版制作流通協議会オンデマンド制作部会長の(株)デジタルオンデマンド出版センター代表取締役の洛野英生氏が、「昨日、ある出版会社の七〇周年謝恩パーティで、その会社の社長さんが、年間出版物の五〇七〇％は三台のトナーのオンデマンド機で作っている」と話された。時代はもうそこまで来ている。将来、あと数年経ったら、あの時、あの先にその先がいくつと数年経ったら、あの時、



榊山一館長



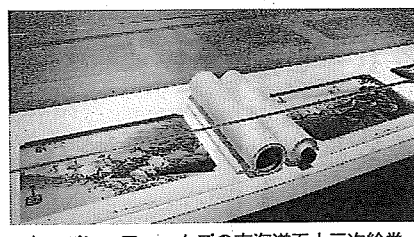
共催は凸版印刷(株)、印刷一般社団法人日本印刷博物館、一般社団法人電子産業連合会、公益社団法人出版制作・流通協議会オンデマンド制作流通部会。後印刷会社、出版社等三七社。
開会前日の三月二十三日午後六時から内覧会、六時半からオープニングセレモニーが開催され、印刷博物館の榊山一館長は、「何年前かに、活字離れと聞いて、活字がなくなっていく。印刷をやめてやるのかと思っただ。その後、活字ではなくなるとは、版など印刷で印刷できるのか、幾度も聞いて嫌がられ、聞かれども答えられなかったが、だんだん分かってきた。デジタル印刷は印刷の世界の中で大きな場所を占めていく。もうすぐそこまで来ている。将来、あと数年経ったら、あの時、

も「ある」と挨拶した。
続いて、電子出版制作流通協議会オンデマンド制作部会長の(株)デジタルオンデマンド出版センター代表取締役の洛野英生氏が、「昨日、ある出版会社の七〇周年謝恩パーティで、その会社の社長さんが、年間出版物の五〇七〇％は三台のトナーのオンデマンド機で作っている」と話された。時代はもうそこまで来ている。将来、あと数年経ったら、あの時、



中尾光宏取締役

会場入り口にはデジタル印刷美演で、キャンソンのオンデマンドプリンター(イメージプレスC750)で印刷博物館所蔵の『北斎漫画鳥獣人物戯画』、『国宝鳥獣人物戯画』も展示。
商業印刷・パッケージ印刷のデジタル印刷事例では自分の気に入ったデザインや写真を入れた「自分だけの印刷物」の(株)ロッテのキシリトールガム、(株)不二家のマイミルキーなど。
出版印刷の事例では、地域の出版支援を基本的な立



トッパン・フォームズの東海道五十三次絵巻



不二家のマイミルキー



ロッテのキシリトールガム

ち位置にした「へんまの本棚構想(朝日印刷工業(株)、三省堂書店オンデマンド、講談社DSR(デジタル・ソリューション)が紹介された。
段ボール製の紙パックジヤンボモックはカゴメ(株)の飲料用紙パックで、印刷は段ボール製造会社のダイナパック(株)が、段ボール専用デジタル印刷(HPS Citext 15500)で制作。
期間中の講演会は▽四月二十一日午後二時～三時半「これからの出版とデジタル技術の活用」講師||榊村八潮氏(専修大学教授)▽五月十二日午後二時～三時半「デジタル印刷出版の海外事例」講師||辻本英二氏(デジタルタグポット(株)社長)▽五月十九日午後二時

2018.4.2

▽三時半「デジタル印刷情熱大陸!実践者語る」講師||榊村八潮氏(専修大学教授)▽四月九日午後二時～三時半「出版におけるデジタル印刷活用」講師||土井秀倫氏(朝日印刷社長)先着80人。
入場、聴講無料。
申込はWEBサイト || (http://www.printing-museum.org/) へ。